

流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

山田 7144-3993 石林 7154-7511

三原 7152-6559

2012.1.1 NO.70



「九条の会・流山」HP: <http://www.nagareyama9.org/>

メール: info@nagareyama9.org

イラク戦争終結?

アメリカ全面撤退

その総決算は 2003 年 3 月米ブッシュ大統領はイラクのフセイン大統領を「大量破壊兵器」を持っている、と勝手に決めつけ、国連の決議を待たず先制攻撃を始めました。衛星を含む制空権を握り、近代装備を整えて圧倒的に優勢な米軍中心の「多国籍軍」は短期間でイラク軍を破壊し、すぐに勝利宣言をしました。

しかしその後の検証で「大量破壊兵器」はなかったことが明らかになっており、大義なき戦争であったことは明白ですが、アメリカはその誤りを認めていません。抵抗は拡大し

その犠牲は米兵の戦死 4,487 人、負傷 32,226 人 (他に イギリス等有志連合 318 人)

民間人死亡 10 万人以上。数 10 万人ともいわれるが詳細は不明。(フセイン政権崩壊後、アメリカ軍による破壊のほか、暴動や略奪をアメリカが放置したため、様々な遺跡や政府機関も荒らされた結果、戸籍も多く紛失したという。) 124 万人が住む家を失い、450 万人の孤児が生まれている。(これらの数字の数倍以上の犠牲があったという主張もあります。)

オバマ大統領も戦争終結に当たって勝利宣言をすることが出来ませんでした。国際的な批判と 7000 億ドル(数 10 兆円)という、わが国の国家予算に匹敵する莫大な戦費のつけなどが今後にもこのさされることとなります。(アフガンと併せると 1 兆ドル)

イラク国民はアメリカ撤退のあと、喜びとともにアメリカが封印をとりしてしまったために宗教対立が再燃拡大するなど不安定な中で重い負担を負わされることとなります。

日本の自衛隊はイラク派遣自衛隊で戦死者が一人も出ていないと公式には発表されています。しかし、イラクを含む海外派遣任務に就いた 19,700

人の自衛官のうち、35 人が在職中に何らかの原因で死亡しています。(海上自衛隊員 20 人、陸上自衛隊員 14 人、航空自衛隊員 1 人) 死因は事故・死因不明が 12 人、自殺が 16 人、病死が 7 人と発表されており、「在職中」には任務から帰国して以降も含まれています。

次期戦闘機を F35 に決定、なぜ?

FX と呼ばれる次期主力戦闘機の選定。強引に規則を変えて進めていましたが、やはり F35 に決定。しかし疑惑が残る。ステルス性能(敵に見えない)が高い云々とはいうものの、まだ未完成であり、日本が予定する 2017 年に間に合わないかもしれない。いまは一機 99 億円で 42 機といっているが完成の時実際にいくらになるのか明確でない。一人乗りのため、試乗もできない。その上、設計図の細部は日本に教えないブラックボックスという。こんな取引って民間企業ならありえない。巨額のムダを削って震災復興に回せ。

民主党政権武器輸出解禁?

三原則が骨抜きに

武器と関連技術の輸出を原則として禁じている武器輸出三原則の緩和を決めた。戦闘機などの国際共同開発・生産への参加や、国連平和維持活動(PKO)など平和・人道目的を「例外」として認める。

その理由は戦闘機などの先端装備品は高性能化・高価格化が進み、国際共同開発が主流となっている。政府が航空自衛隊の次期主力戦闘機(FX)に選定した F35 も、米、英など 9 カ国の共同開発によるもので、共同開発に参加すれば、最新技術の取得やコスト抑制が期待できるという。また、平和・人道目的では、巡視艇やヘルメット、防弾チョッキなど、人を直接殺傷する可能性が低いものに限定する。自衛隊の海外派遣で使用した後の装備品を要するにタダで置いてくるという。こうしていっそうのなし崩しが進む。

